

# あさかホスピタル家族会 あづみ会 会報

2007.10.1  
第15・16合併号  
あさかホスピタル家族会  
あづみ会発行  
電話:024-945-1701



## 平成19年度あさかホスピタル家族会総会報告

### 記

平成19年6月30日(土)にあさかホスピタル本館6階あさかホールにおきまして、平成19年度あさかホスピタル家族会総会が開催されました。

平成18年度に行われました事業につきましては、平成18年4月から施行されている「自立支援法」に関することをテーマとした事業が多かったことや、あさかホスピタルの行事への参加についての報告がありました。

また、平成19年4月に全国家族会連合会が解散し、平成19年5月より全国保健福祉会連合会が組織として立ち上がりました。会長よりあづみ会も全国保健福祉連合会に所属し活動していくということで報告がありました。

今年度予定されている主な事業は右記の通りです。

平成19年

10月1日(月)～2日(火)

平成19年度北海道・東北ブロック家族会精神保健推進活動研修会(福島市飯坂)

10月25日(木)～26日(金)

全国精神障害者家族大会  
(岡山県)

12月18日(火)

カラオケ  
&クリスマスお楽しみ会  
(あさかホスピタル)

## 平成19年度あづみ会総会について

あづみ会 会長 莊司仁吉

残暑厳しいこの頃、会員の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。今年の暑さは格別で、真夏日とか猛暑日などという気象用語が、毎日使われているほどです。

さて、今年度の総会は6月30日に開催されましたが、その際私ども役員が苦心したのは、一人でも多くの会員に出席して頂くには、どうしたらいいかという事でした。それで、手始めに、このあづみ会の歴史や、いままでの総会など会議の様子を調べることから始めました。以下その概要です。

この会の設立は平成9年11月です。設立当時の会員数は正会員185名・賛助会員15名でした。おもな会議には、総会（年度当初に1回）、役員会（上半期・下半期に各1回）、家族会（毎月第3土曜日に1回）等がありまして、それぞれ定例的に開催されてきております。ただ、出席状況を見てみますと、総会の出席者は大体14～5名（設立総会の時は43名でした。）といったところですし、月例の家族会も出席者は4～5名です。（ちなみに役員会は、総会で選任された10名で構成されています。）会議以外の行事としては、会報の発行・家族会交流会・各種施設見学・各種研修会（参加）・運動会（協力）・家族教室（協力）・盆踊り（協力）・文化祭（協力）などがおこなわれております。

次に、会員の方々がこの家族会について持っている関心や要望には、どんなものがあるかを知るために、アンケートをお願いしました。集計した結果はつぎの通りです。

会員110名中回答されたのは61名（平均年齢72歳）で、回答率は55.5%  
回答者61名のうち会議や行事に出席したことがある方は29名で、47.5%  
催し事のなかでは、講演会を希望された方が多い。（演題は「親亡き後の問題について」）

以上のような経過から、今年度は総会の際、講演会を催すことになりました。

講師には司法書士の菊田泰子先生をお願いし、親亡き後の問題として「成年後見制度」を取り上げて頂きました。

つまり、今年度総会は第1部総会、第2部講演会と2部構成になった次第です。

総会の第1部では、予算・決算・事業報告などが、すべて原案の通り議決されましたが、講演会にだけ出られた方もいたようで、総会の出席者は12名でした。第2部の講演会では近辺の関係者に聴講方をお誘いしたこともあって、出席者は59名になりました。

このあづみ会で、講演会を持ったのは初めてでしたが、関係者のお陰で、成功裡に進めることが出来、総会も無事終ることが出来ました。ご協力を頂いた皆さんに、厚くお礼申し上げます。

終わりに、昨今の医療は、入院中心から地域生活中心の自立支援型医療に向かっているといわれ、ご家族にもそれなりの役割が期待されております。どうぞ会員の皆さんには、ご自愛のうえ、あづみ会発展のためにも、更なるご協力を下さいますようお願い申し上げます。平成19年度総会の報告といたします。

あづみ会 佐々木信夫

平成19年度、あさかホスピタル家族会総会終了後、特別講演会が開催されました。講師は、菊田泰子先生（ひびきの会理事・司法書士）。「親亡き後の問題について」～成年後見制度とは～という演題でお話くださいました。このテーマは、私たちにとって最も関心の高い問題です。私たち（両親）が活着ている間は、自立出来るように支援し、愛をこめ力を尽くして共に生きていきたいと思っています。しかし、私たちが死んだ後、この子はどうなるのだろうか。老化が進む中に不安が増すばかりです。このような不安を少しでも解消するには、現在ある福祉制度や福祉施設を利用して、親亡き後を生きていく当人の道筋を備えていく以外に方法はありません。この成年後見制度もその中の一つです。

菊田先生は、ご自分の体験を踏まえながら丁寧にお話くださいました。この後見制度は、判断能力の不十分な成年を対象としています。後見人を選任することにより、できるだけ当事者の意思を尊重した上でその権利を保護することが目的であること。判断力の程度によって「後見人」「保佐人」「補助人」「任意後見」の類型があること。後見人制度を利用するときは、家庭裁判所に申し立て決定してもらうこと等を教示されました。殊に「任意後見」は、当事者に判断力のあるときに判断力低下に備えて任意後見契約を公正文書で行うことができ、後見人になってもらいたい人、依頼した事柄等をあらかじめ決めておくことができることを教えてくださいました。先生の内容豊富な話を詳述できませんが、これを土台として私たちは「親亡き後の子どもたち」のために力をあわせ学習し実践してまいります。

あづみ会 橘 アキ

障害を持つ子の親にとり、常に頭から離れない「親なきあとの子の問題」親なき後の子についての心配は、親の高齢化と共に深まるばかりです。

今回、あづみ会総会後の講演会はそのような心配の一助ともなる成年後見人制度についてのお話で、講師先生が自己紹介を含め、私たちと同じく障害を持つ子の親ですとの言葉に緊張もやわらぎ、意義深く聞かせていただきました。

専門的な先生のお話から、後見人の選定にはそれなりの費用がかかることや、また善意的でも無報酬ということにすれば後々トラブルの起こる原因にもなったりすること、後見人による不祥事件の報道もあったということを知り、いざこの制度の活用となると不安な面もあるように感じました。

家族の中で自然な引き継ぎが出来ればいちばん良いことと思いますが、核家族化している現状ではなかなか無理でむずかしいとも思われます。

親なき後の子のために、また高齢化していく自分たちのためにも、この成年後見人制度が安心、信頼して活用できるように進んでほしいと願っております。

# アンケート結果

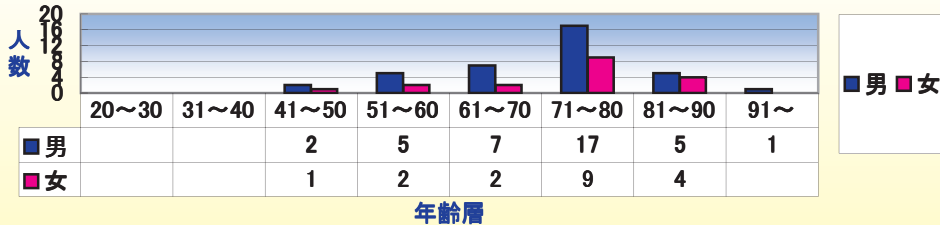
今回、アンケートを実施し会員の方々の現在の状況やご要望、関心ごとなどを調査させて頂きましたので、下記の通りご報告いたします。アンケート結果を参考にして今後の活動に活かして頂きたいと思っております。会員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

## 1. 基礎データ

家族会会員数：110名(H19.3現在) アンケート回答数：61名

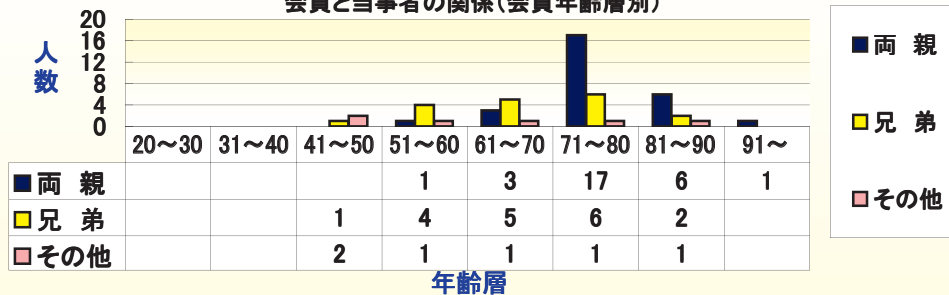
### Q. 会員について：性別(男・女)年齢 当事者との関係(子・兄弟・その他)

あづみ会 会員データ(年齢層別)

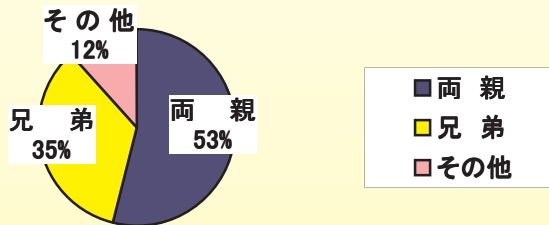


### Q. 当事者との関係(子・兄弟・その他)

会員と当事者の関係(会員年齢層別)

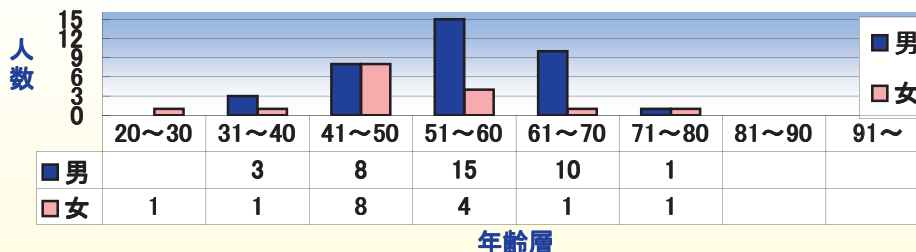


当事者との関係(割合)

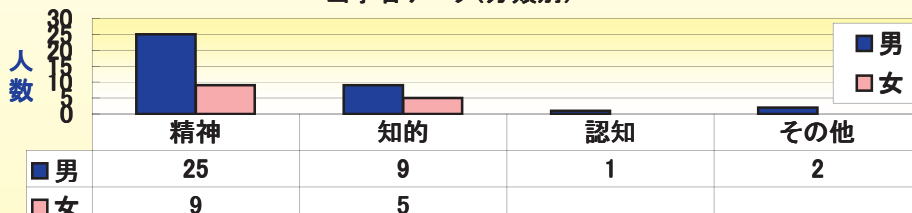


### Q. 当事者について：性別(男・女)年齢 障害別(知的障害・精神障害・認知症・その他)

当事者データ(年齢層別)



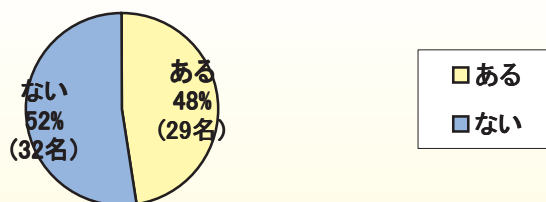
当事者データ(分類別)



## 2. 出席状況

—あなたの出席状況についておたずねします—

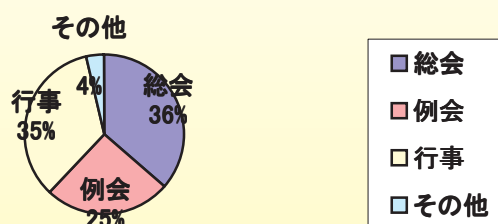
### Q. これまで家族会等に出席したことがありますか



⇒ 『ある』と答えた方

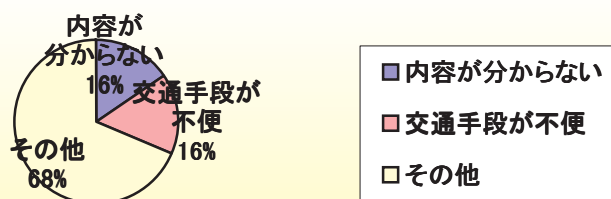
それは次のどれですか  
(複数回答あり)

： 総会・例会・運動会など  
・その他

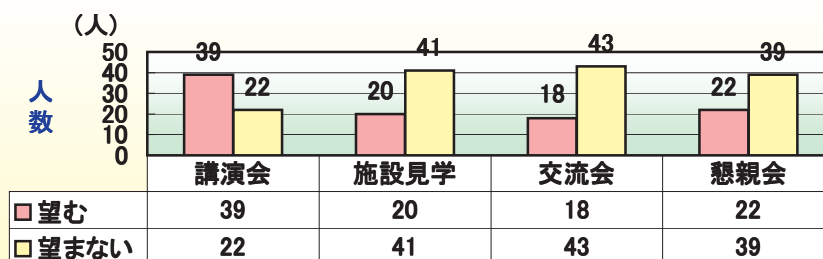


⇒ 『ない』と答えた方

出席しなかった主な理由を  
お聞かせ下さい

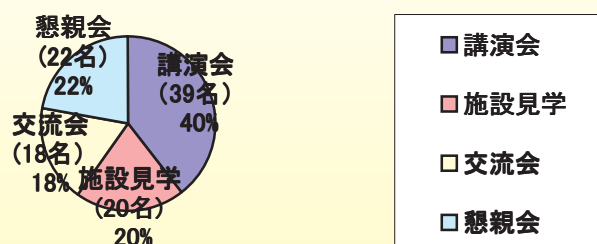


## 3. 家族会への要望



### Q. 家族会の行事として、次のうちどれを要望されますか

- ・ 講演会 ⇒ 「親亡き後を考える」など
- ・ 施設見学 ⇒ 作業所・デイケアの見学など
- ・ 交流 ⇒ 近隣の家族会との交流など
- ・ 懇親会 ⇒ 父親の会など



## あさかホスピタル夏祭り

平成19年8月28日(火)、朝からあいにくの雨模様。グラウンドで開かれる予定となっていた夏祭りでしたが、あさかホスピタル体育館で行われました。

しかし、夕方には雨もあがり、近所の方々やご家族の方など多くの方が参加されました。今年は、スイカ割りなど新しいイベントも加わり、出店などをまわりながら皆さんとても楽しそうに過ごされていたようです。



### 新刊のご案内

#### ○精神障がい者の生活サポートハンドブック

～アドボクんとケイトちゃんから、あんしんできる暮らしのためのメッセージ～

編集：社団法人 日本精神保健福祉士協会 企画部権利擁護委員会

発行所：へるす出版

定価：1260円



←「精神障がい者の多くが偏見や差別、社会から離れていたことによるハンディキャップなどから、地域社会で生活していくうえでさまざまな困難をかかえています。…彼らが暮らしのなかでぶつかる課題を取り上げ、権利を擁護するという立場から、必要な知識や情報を具体例とともに紹介しています。「編集にあたって」より抜粋中略

#### お悔やみ

長年、家族会役員としてご尽力いただき、副会長なども務められました大石信一様が他界されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

#### 編集後記

ようやく残暑もおさまり、朝夕の風の涼しさに秋の訪れを感じられる時期になりました。

今回、15・16号の合併号となってしまいましたあづみ会会報。予定通りの発行とはいきませんが、皆様に多くの情報をお伝えしていく事が出来るように今後も取り組んでいきたいと思っております。

また、月ごとのあづみ会定例会をはじめ、一面にございますように各事業・行事が予定されております。多くの皆様方に参加していただきますようお願いいたします。